

現代用語

自由国民社版



新語新知識の宇宙の通信衛星として
昭和23年・送信開始以来ここに創刊30年版・

基礎知識

1978

現代のタブーを
追跡する用語集

政治のタブー・放送のタブー・
医者のタブー・新聞のタブー・
圧力団体のタブー・62項

第三次大戦と
超大国の
戦略を
理解する
用語集



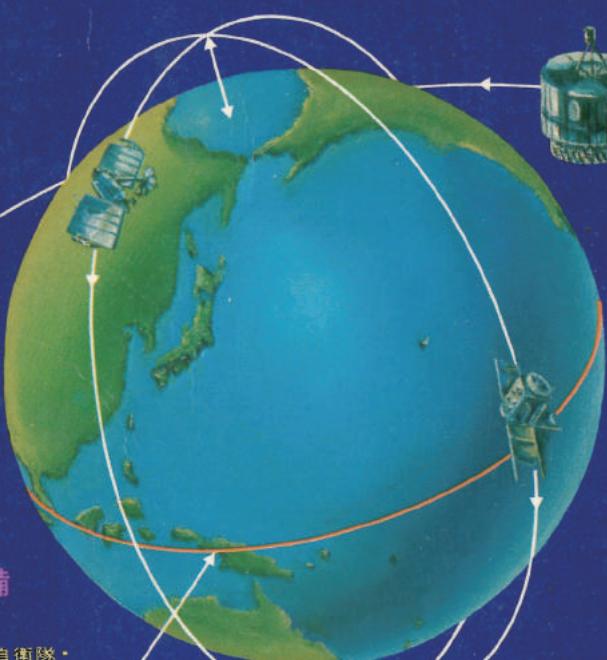
METEO-SAT(欧洲
宇宙機関)

わずか10分しか
抵抗できぬ
日本の無防備
状態・用語集

陸上自衛隊・海上自衛隊・
航空自衛隊・34項



(ソ連)
GOMS



GOES(アメリカ)



ひまわり(日本)



SMS(アメリカ)

未来語特集

今後30年間に本書に現われる
新語新事件予想事典

政治権力のタブー 政治とは一言でいえば権力をめぐる争いであり、したがって権力は政治のアルファであると同時にオメガであるといつてもよいが、政治ではそもそもこの権力がタブー視される傾向にある。

人を支配するには、その支配を正当化するための、なんらかの観念やイデオロギーが必要である。それと同時に、権力を神聖化し、神秘の後光で包み込んでおけば、権力にたいする挑戦をあらかじめ心理的に防止することができる。こうして、君主政から民主政まで、どんな政治体制にあっても、なんらかのかたちで権力と関連をもち、権力を象徴しているようなもの、すなわち、王室や支配党や国家の紋章、旗、言葉、歌、記念日、行事、建築物、場所などは、多かれ少なかれ神聖化され、タブー化されるもの」のタブー一般にタブーには一見すると不思議な性質がある。

「聖なるもの」と禁忌されるものは、「聖なるもの」だけではなく、それとは正反対に思われる「不淨なるもの」も同時に禁忌される。権力も一方で「聖なるもの」としてタブー視されると同時に、裏面で血腥い暴力に深く関わっているために「不淨なるもの」として禁忌される傾向をもつ。権力の裏面を暴くことは、いつの時代においてもタブーなのである。こうして権力は、いわば二重の意味でタブー化される傾向をもつ。

タブーには、これと関連してもう一つ奇妙な性質がある。それはタブーの感染性ともいいうべき特質である。すなわちタブーは、それに触れるものをタブー化する。戦前、共産党がタブーになつたのは、この党がタブー化されることは、たとえば、天皇を扱つた深沢七郎氏の小説『風流夢譚』を掲載したというので、中央公論社の社長宅が右翼に襲撃された、いわゆる鳩山事件が起こつてゐることからもわかる。この事件に見られるように、とくに国民党が民主主義を実現する能力を一番もつてゐるかを競い合つてゐる。そして他党を批判し非難したりするときの言葉は、きまつて「非民主的」あるいは「反民主主義的」ということになつてゐる。

中では、天皇は依然として強い連や中国のような社会主義国家が民主主義の旗を掲げているたまでも天皇や皇室のあり方を公然と議論することは何となくは可能である。しかし、この問題はむしろ「不淨なるもの」としてタブー化されてしまう。この問題はむしろ「不淨なるもの」としてタブー視されたが、被差別部落の問題である。戦前この問題はむしろ「不淨なるもの」としてタブー視されたが、たために、この問題は逆に「敬してこれを遠ざく」ものとしてタブーとなつた。

現代のタブーを追跡する用語集

A 政治のタブー

天皇タブー・戦争タブー・核タブー
国家タブー・憲法タブーなど一三項

東京外国语大学助教授 志水速雄



周知のようにアンデルセンの童話に「はだかの王様」というのがある。ペテン裁縫師に騙されて、愚者に見えた多くのタブーと裸かの王様が生まれたことか。この特集が存在価値のかで、愚者に見られた大人たちの称賛の中を歩く。だが一人の少年の「王様は裸かだ」の叫び声によれば、幸せである。

り、このタブーが崩れるという萬話ですが、戦後三十一年、なんとこれに似た多くのタブーと裸かの王様が生まれたことか。この特集が存在価値のあるタブーと裸かの美服タブーと選別する「子供の声」の役割を果しえない美服を着たつもりの王様が裸かで、愚者に見られた大人たちの称賛の中を歩く。だが一人の少年の「王様は裸かだ」の叫び声によれば、幸せである。

主権在民タブー 実際の中身がどうであれ、主権は国民にあり、またあらねばならないという観念に挑戦することは、今日ほとんど不可能である。したがって、国家にたいする貢献度や政治的成熟度をまつたく無視して、全民族に一律に参政権を与えるのは非合理的であるといふ批判は、反動的であるばかりか、「不淨なるもの」としてのタブーに属する。因みにいえば、とくに政治家が有権者を馬鹿呼ばわりしたり、批判したりすることは、代議士にとって完全なタブーであり、「有権者は神様です」といふ「民の声は天の声」と世間にむかって叫ぶ代議士が最も賢いのである。

ファシズム・タブー 今 日左右を問わず民主主義の敵として象徴化されてしまっているもの、たとえばファシズムを少しでも擁護したり、それに少しでも理解を示すことはタブーである。民主主義が「聖なるもの」としてのタブーであるとすれば、こちらは「不淨なるもの」としてのタブーだからである。

戦争タブー 戦争にかんしても、戦前・戦中と戦後とでは百八十度の転換があった。戦前・戦中、少なくとも日本が行なう戦争は聖戦、すなわち「聖

たがって、國家にたいする貢献度や政治的成熟度をまつたく無視して、全民族に一律に参政権を与えるのは非合理的であるといふ批判は、反動的であるばかりか、「不淨なるもの」としてのタブーに属する。因みにいえば、とくに政治家が有権者を馬鹿呼ばわりしたり、批判したりすることは、代議士にとって完全なタブーであり、「有権者は神様です」といふ「民の声は天の声」と世間にむかって叫ぶ代議士が最も賢いのである。

アシズム・タブー 今 日左右を問わず民主主義の敵として象徴化されてしまっているもの、たとえばアシズムを少しでも擁護したり、それに少しでも理解を示すことはタブーである。民主主義が「聖なるもの」としてのタブーであるとすれば、こちらは「不淨なるもの」としてのタブーだからである。

核タブー これは場合によつて日本人の「核アレルギー」として表現されている。とくに核兵器や核武装の必要を議論することは、日本では禁忌されておらず、かつて石原慎太郎氏が、日本での核武装について云々しただけであったように、今では、平和を批判することがタブーとなつた。このタブーが、いかに強力であるかということは、現在から将来にわたる戦争を支持することはもちろん、過去に起きた戦争、たとえば日中戦争や日米戦争を日本人の立場から正当化しようとする試みさえ、たゞまち批判の対象になることからもわかる。

戦争が、「不淨なるもの」としてタブーとなつたために、戦争に関連し、戦争を想起させるものはすべてタブーとなつた。第一に、軍隊は、その言葉さえ不吉な、忌むべきものとなつた。

かつて自衛隊が、日本国憲法第九条でいう「戦力」に当たるか

ある。民主主義が「聖なるもの」としてのタブーであるとすれば、こちらは「不淨なるもの」としてのタブーだからである。

徴兵制タブー 戰争に関連するタブーのうち最も強力なタブーは、徴兵制である。軍隊

や核にかんしては、それでもまだ、少なくとも議論の対象にはなりえた。しかし、徴兵制については議論の対象にさえなつて

ない。タブーの本質が、それを見たり、それに触れたり、それについて語つたりすることを禁じることにあるとすれば、

徴兵制こそタブーの名にふさわしいかもしれない。しかも、こ

なるもの」であり、そのよくなつて心理的なタブーとなつてゐる。それに反対することはタブーであつた。ところが戦後、あらゆる戦争は「不淨なるもの」となり、そういうものとして、しかしながら「聖なるもの」の地位を獲得し、戦前・戦中ににおいて戦争を批判することがタブーであったようだ。今では、平和を批判することがタブーとなつた。このタブーが、いかに強力であるかということは、現在から将来にわたる戦争を支持することはもちろん、過去に起きた戦争、たとえば日中戦争や日米戦争を日本人の立場から正当化しようとする試みさえ、たゞまち批判の対象になることからもわかる。

戦争が、「不淨なるもの」としてタブーとなつたために、戦争に関連し、戦争を想起させるものはすべてタブーとなつた。第一に、軍隊は、その言葉さえ不吉な、忌むべきものとなつた。かつて自衛隊が、日本国憲法第九条でいう「戦力」に当たるか

ある。民主主義が「聖なるもの」としてのタブーであるとすれば、こちらは「不淨なるもの」としてのタブーだからである。

憲法タブー 民主主義が「聖なるもの」としてタブーとなり、戦争が「不淨なるもの」としてタブーとなつたといふことは、自衛隊は「戦力」であり、や核にかんしては、それでもまだ、少なくとも議論の対象にはなりえた。しかし、徴兵制については議論の対象にさえなつて

ない。タブーの本質が、それを見たり、それに触れたり、それについて語つたりすることを禁じることにあるとすれば、徴兵制こそタブーの名にふさわしいかもしれない。しかも、こ

かつて天皇の言葉は、すべて神のとして戦争を批判したり、すべての政権をして作用し、すべての政権をして忠誠義務を果さなければならぬことを公然と主張する政党は、保守党の中にも存在しない。やはり国家の問題にふれることは莫然とではあれ、タブー

であるほどこの点では、政党によってタブーの程度は異なる。一般的にいえば、左翼政党になればなるほど国家はタブー視され、右翼政党はタブー視され、左翼政党には存在する国境をする必要がある。しかし、国家が敵存しておれば、将来にわたってそれが必要があること、したがって国民は

政治のタブー 2

になつてゐるのである。ところで本来、国家意識が稀薄になることと、国家をタブー視することとは両立しないはずである。あるものをタブーとするというのは、それを強烈に意識していればこそ可能だからである。しかし、戦後日本人は不思議なことにこの両方の態度を合せて維持しているよう思われる。それは二つの要因が作用しているからであろう。

第一に、單一言語をもつ均質的な日本人は、海をへだてて周辺から孤立した島国に住んでいるために、伝統的に強い国家意識をもつ必要を感じてこなかつた。日本人にとって、国家はその文字が示す通り、せいぜい家の延長であり、自然の產物である。その意味で明治維新から敗戦まで続いた極度の国家意識の培養は日本の歴史の中ではむしろ例外に属する。

これに反して異民族による支配を受け、国内が階級に分裂し、國境をせめぎ合っている他の國民にとっては、平和時であらうが戦時であらうが、國家はその國の住民が、外国の侵略を防ぐためにはどうしてもつくりあげなければならぬ人工的な構築物であり、国家意識は、放つておけばばらばらに崩れてしまふ國民を結びつけておくのに必要な絆である。だから、同じ第二次大戦の敗戦国であっても、ドイツやイタリアでは国家意識が日本ほど稀薄になることはなかつた。

第二に、なんといつても、戦前

の極端な国家主義的傾向にたいする反動として、日本人が国家にたいして拒否反応を引き起していることは否定できない。というのは、それを強烈に意識していればこそ可能だからである。しかし、戦後日本人は不思議なことにこの両方の態度を合せて維持しているよう思われる。それは二つの要因が作用しているからであろう。

ある。

政党タブー 日本の政治全体を覆うタブーが、時代によつて生まれたものであり、それだけに根深く、変わらぬといつて各党固有のタブーは、

その党的成立事情、イデオロギー、政策、体質によってできあがつたものであり、可変的であるのみならず、それが各党固有のものであるということは、他の党にとっては、それはタブーでも聖域でもなく、むしろ批判し攻撃すべき脆弱な地帯となりやすいということを意味する。事実、各党は互いに相手のタブーを見つけ合い、それを攻撃し合っている。

自民党と新自由クラブのタブー この二つの党はともと同根であつて、タブーも共通している。そして比較的タブーが少ないという点も似ている。

しかし、自民党は、財界・官界だけの支持を受けてゐるのでない。個々の自民党員、とりわけ代議士にとつては、自分の選挙区の後援会は、まさに「聖なるもの」としてのタブーであ

る。極端な話、党が存在しない限り代議士は安泰である。

社会党と民社党的タブー 後援会とならんで、各種の圧力団体も、それぞの代議士にとっては聖域である。たとえば農業の団体、薬品会社の団体等々、各種の産業・職業別の利益団体は、票と金を代議士に与える代わり、国政の場に自分たちの利益を反映させるべく、これらの代議士に圧力をかける。

多種多様である。たとえば左派自民党全体の政策がどうであ

れ、生産者米価が下がらなかつたり、医師にたいする税制優遇が改められなかつたり、貿易自由化が完全におこなわれなかつた。

しかし、その自民党や新自由クラブにも、共通するタブーはある。その第一は、財界・官界である。財界・官界は両党的供給源、つまり故郷たる聖地である。もちろん党がこれら二重の意味における供給源を批判することはあるが、それにも限度があり、ましてや、これらと手を切つて対立するという事態は、自民党が自民党である限りは不可能である。

しかし、自民党は、財界・官界だけの支持を受けてゐるのでない。個々の自民党員、とりわけ代議士にとつては、自分の選挙区の後援会は、まさに「聖なるもの」としてのタブーであらぬタブーである。

政策面における、タブーとしての社会主義がもつてゐる拘束力は、党内の派閥に応じて多様で

あり、時に応じて可変的でもあ

ることはある。したがつて、どれほど労働組合にたいし文句があつて

は、社会党と民社党にとつて人

たる聖なる領域は存在する。そ

れは、労働組合である。ちよ

ど自民党にとつて財界・官界が

そうであつたように、労働組合

は、社会党と民社党にとつて人

たる聖なる領域は存在する。そ

れが改められなかつたり、貿易自

由化が完全におこなわれなかつ

たためだろう。

しかし、その自民党や新自由ク

ラブにも、共通するタブーはあ

る。その第一は、財界・官界で

ある。財界・官界は両党的

供給源、つまり故郷たる聖地で

あるばかりか、資金供給源でも

ある。もちろん党がこれら二重

の意味における供給源を批判す

ることはあるが、それにも限度

があり、ましてや、これらと手

を切つて対立するという事態

は、自民党が自民党である限り

は不可能である。

しかし、自民党は、財界・官

界だけの支持を受けてゐるので

はない。個々の自民党員、とり

わけ代議士にとつては、自分の

選挙区の後援会は、まさに「聖

なるもの」としてのタブーであ

る。したがつて、どれほど労

働組合にたいし文句があつて

は、社会党と民社党にとつて人

たる聖なる領域は存在する。そ

れが改められなかつたり、貿易自

由化が完全におこなわれなかつ

たためだろう。

しかし、その自民党や新自由ク

ラブにも、共通するタブーはあ

る。その第一は、財界・官界で

ある。財界・官界は両党的

供給源、つまり故郷たる聖地で

あるばかりか、資金供給源でも

ある。もちろん党がこれら二重

の意味における供給源を批判す

ることはあるが、それにも限度

があり、ましてや、これらと手

を切つて対立するという事態

は、自民党が自民党である限り

は不可能である。

しかし、自民党は、財界・官

界だけの支持を受けてゐので

はない。個々の自民党員、とり

わけ代議士にとつては、自分の

選挙区の後援会は、まさに「聖

なるもの」としてのタブーであ

る。したがつて、どれほど労

働組合にたいし文句があつて

は、社会党と民社党にとつて人

たる聖なる領域は存在する。そ

れが改められなかつたり、貿易自

由化が完全におこなわれなかつ

たためだろう。

しかし、その自民党や新自由ク

ラブにも、共通するタブーはあ

る。その第一は、財界・官界で

ある。財界・官界は両党的

供給源、つまり故郷たる聖地で

あるばかりか、資金供給源でも

ある。もちろん党がこれら二重

の意味における供給源を批判す

ることはあるが、それにも限度

があり、ましてや、これらと手

を切つて対立するという事態

は、自民党が自民党である限り

は不可能である。

しかし、自民党は、財界・官

界だけの支持を受けてゐので

はない。個々の自民党員、とり

わけ代議士にとつては、自分の

選挙区の後援会は、まさに「聖

なるもの」としてのタブーであ

る。したがつて、どれほど労

働組合にたいし文句があつて

は、社会党と民社党にとつて人

たる聖なる領域は存在する。そ

れが改められなかつたり、貿易自

由化が完全におこなわれなかつ

たためだろう。

しかし、その自民党や新自由ク

ラブにも、共通するタブーはあ

る。その第一は、財界・官界で

ある。財界・官界は両党的

供給源、つまり故郷たる聖地で

あるばかりか、資金供給源でも

ある。もちろん党がこれら二重

の意味における供給源を批判す

ることはあるが、それにも限度

があり、ましてや、これらと手

を切つて対立するという事態

は、自民党が自民党である限り

は不可能である。

しかし、自民党は、財界・官

界だけの支持を受けてゐので

はない。個々の自民党員、とり

わけ代議士にとつては、自分の

選挙区の後援会は、まさに「聖

なるもの」としてのタブーであ

る。したがつて、どれほど労

働組合にたいし文句があつて

は、社会党と民社党にとつて人

たる聖なる領域は存在する。そ

れが改められなかつたり、貿易自

由化が完全におこなわれなかつ

たためだろう。

しかし、その自民党や新自由ク

ラブにも、共通するタブーはあ

る。その第一は、財界・官界で

ある。財界・官界は両党的

供給源、つまり故郷たる聖地で

あるばかりか、資金供給源でも

ある。もちろん党がこれら二重

の意味における供給源を批判す

ることはあるが、それにも限度

があり、ましてや、これらと手

を切つて対立するという事態

は、自民党が自民党である限り

は不可能である。

しかし、自民党は、財界・官

界だけの支持を受けてゐので

はない。個々の自民党員、とり

わけ代議士にとつては、自分の

選挙区の後援会は、まさに「聖

なるもの」としてのタブーであ

る。したがつて、どれほど労

働組合にたいし文句があつて

は、社会党と民社党にとつて人

たる聖なる領域は存在する。そ

れが改められなかつたり、貿易自

由化が完全におこなわれなかつ

たためだろう。

しかし、その自民党や新自由ク

ラブにも、共通するタブーはあ

る。その第一は、財界・官界で

ある。財界・官界は両党的

供給源、つまり故郷たる聖地で

あるばかりか、資金供給源でも

ある。もちろん党がこれら二重

の意味における供給源を批判す

ることはあるが、それにも限度

があり、ましてや、これらと手

を切つて対立するという事態

は、自民党が自民党である限り

は不可能である。

しかし、自民党は、財界・官

界だけの支持を受けてゐので

はない。個々の自民党員、とり

わけ代議士にとつては、自分の

選挙区の後援会は、まさに「聖

なるもの」としてのタブーであ

る。したがつて、どれほど労

働組合にたいし文句があつて

は、社会党と民社党にとつて人

たる聖なる領域は存在する。そ

れが改められなかつたり、貿易自

由化が完全におこなわれなかつ

たためだろう。

しかし、その自民党や新自由ク

ラブにも、共通するタブーはあ

る。その第一は、財界・官界で

ある。財界・官界は両党的

供給源、つまり故郷たる聖地で

あるばかりか、資金供給源でも

ある。もちろん党がこれら二重

の意味における供給源を批判す

ることはあるが、それにも限度

があり、ましてや、これらと手

を切つて対立するという事態

は、自民党が自民党である限り

は不可能である。

しかし、自民党は、財界・官

界だけの支持を受けてゐので

はない。個々の自民党員、とり

わけ代議士にとつては、自分の

選挙区の後援会は、まさに「聖

なるもの」としてのタブーであ

る。したがつて、どれほど労

働組合にたいし文句があつて

は、社会党と民社党にとつて人

たる聖なる領域は存在する。そ

れが改められなかつたり、貿易自

由化が完全におこなわれなかつ

たためだろう。

しかし、その自民党や新自由ク

ラブにも、共通するタブーはあ

る。その第一は、財界・官界で

ある。財界・官界は両党的

供給源、つまり故郷たる聖地で

あるばかりか、資金供給源でも

ある。もちろん党がこれら二重

の意味における供給源を批判す

ることはあるが、それにも限度

があり、ましてや、これらと手

てはいる。

公明党のタブー この党

の最大のタブーは、いまでもなくその支持団体である創価学会であろう。最近は世論の動向をにして政教分離を謳つてゐるが、公明党がもともと創価学会の政治的理念を実現するための政策部として出発したことは周知の事実だし、現在においても、創価学会が公明党最大の支

持母体である事情に変わりはない。そこで公明党としては、たとえば創価学会が公明党をいわば出し抜いて共産党と十年間の政策協定を結んでも、表向きはそれにたいして文句をいえないと、学会会長を批判することもできない。

公明党にとっては、創価学会を批判するどころではない。一時期、マスコミにおいてさえ創価学会批判はタブーであつた。そのタブーをあえて侵した評論家の著書の出版を公明党が組織をあげて妨害しようとしたことがあつた。昭和四年に起つた公明党のいわゆる「言論出版妨害事件」である。学会批判がいかに強いタブーであるか想像で

公明党は、政策面では反自民、反反動権力、反大資本といふ、いわゆる「中道革新連合」を説いてゐるが、体質的に反共アレルギーが強く、その意味では、共産主義はタブーである。そして共産党との論争で明確に打ち出した憲法三原理(國民主権、基本的人権、平和主義)を、少なくとも当面の、侵すべからざ

るタブーにしているという点では、戦後日本の政治的タブーを最も純粹に表現しているといつてもよいだろう。

共産党のタブー 日本の

政党の中で最もタブーが多く、その拘束力が最も強いのは共産党であろう。それは、この党がイデオロギー政党であり、一枚岩の体質をもつてゐるという特

質から生まれているのである。まず第一に、共産党にとってマルクス＝レーニン主義は侵すべからざる聖域である。もつとも

最近、日本共産党は、それを科

学的社会主义を成立させている

ニクソン元米大統領が日常生活

では言論による争いであるた

め、この点で禁句を侵すことは

政治生命を失うことにもなりか

ねない。

これまでのべたさまざまのタブーは、場合によつては言葉に出

しただけで世論の指弾を受ける

ことがある。とくに政治は一面

では言論による争いであるた

め、この点で禁句を侵すことは

政治生命を失うことにもなりか

ねない。

ニクソン元米大統領が日常生活

では言葉だけを並べ、禁句にはなるた

め、この点で禁句を侵すことは

政治生命を失うことにもなりか

ねない。

ニクソン元米大統領が日常生活

では言葉だけを並べ、禁句にはなるた

め、この点で禁句を侵すことは

政治生命を失すことにもなりか

ねない。

若者のライフスタイルを理解する用語集

法政大学教授

平野秀秋

はしがき

現代の若者の空気を理解することはスピードとリズム感がいる。収録したコトバも、音楽、マスコミ、風俗と密接に結合したものが多い。現代の流行。風俗の規模と性質が集約されている観がある。一現象にのめりこむ深海魚型、挫折型の若者が減少し、高速遊泳型の若者が増加しているのも特徴である。

政治と性が若者の流行語のシーンから姿を消したもの印象的である。代わって自己や対人関係にかんする姿勢御用語といふべきものが数多くみられる。のめらす、しらけず、行動を楽しむというライフ・スタイルが維持されているのかもしれない。

こだわりを捨てた

若者風俗

現代の若者にとっては、音楽や

ファッショントイドも、音楽や

スタイルや氣分を表わす一種の

表現メティアである。しかし

六〇年代後半のジーパンや

長髪のよううにそこにアイデンティ

ティを見出そうとはしていない。

むしろ、マスコミのリズム

にあわせて自己を演じる際の形式モデル集といった趣がある。

R&R

ロックン・ロール
(rock'n' roll)

のこと。一九五〇年代後半から、一九六〇年代前半にかけて、アメリカで全盛だった音楽。

最近、五〇年代のファッショントイド

のくちびるに安全ピンを刺したボス



グラフィティー・ファッショ

ン (graffiti fashion) 一九七四

日本でも大学生を中心にファンが多く、ファッショントイドといふ点で

も、ロックン・ロールと影響力を二

分するような形となっている。

パンク・ロック (punk rock)

もともとは、ニューヨークのアンダーグラウンドなロックン・ロールの

一潮流だったが、これがロンドンに渡り、いわゆるパンク・ファッショ

ンと呼ばれる風俗現象と結びつい

て、イギリスのハイティーンを中心

に爆発的な流行となつた。

髪の毛は短く、ベンキをねつたり、

ズタズタに切斷してある皮ジャンパ

ー、それを、大きめの安全ピンでと

める、といったスタイルが一般的な

パンク・ファッショントイドである。女王

のくちびるが特徴で、スタイルにも何通

俗などと共に若者の間で急速にリバ

イバル

している。日本でも、ハイテ

ィーンから二十二歳位までの若者の集

まるディスコティックに、ロックン・

ロールをかける店が増えており、そ

れに伴つて、ツイストやジルバなど

のダンスも復活してきた。

これらの音楽や風俗を総称して、グ

ラフィティーあるいは、フィフティ

ーズということもあり、現在の若者

文化にとつては、台風の目といつた

サウンドである。

ウエストコースト (west coast) 一九七〇年頃から、アメリカの西海岸で流行はじめたロック・サウンドの傾向で、こだわり

のない、デリケートな軽さを身上と

している。

日本でも大学生を中心にファンが多く、ファッショントイドといふ点で

も、ロックン・ロールと影響力を二

分するような形となっている。

パンク・ロック (punk rock)

もともとは、ニューヨークのアンダ

ー・グラウンドなロックン・ロールの

一潮流だったが、これがロンドンに

渡り、いわゆるパンク・ファッショ

ンと呼ばれる風俗現象と結びつい

て、イギリスのハイティーンを中心

に爆発的な流行となつた。

グラフィティー・ファッショ

ン (graffiti fashion) 一九七四

タード・ロックとは同一カテゴリーに

違つて、強烈なリズムで体ごとの

文化にとつては、台風の目といつた

サウンドである。

ウエストコースト (west coast)

一九七〇年頃から、ア

メリカの西海岸で流行はじめたロ

ック・サウンドの傾向で、こだわり

のない、デリケートな軽さを身上と

している。

日本でも大学生を中心にファンが多く、ファッショントイドといふ点で

も、ロックン・ロールと影響力を二

分するような形となっている。

パンク・ロック (punk rock)

もともとは、ニューヨークのアンダ

ー・グラウンドなロックン・ロールの

一潮流だったが、これがロンドンに

渡り、いわゆるパンク・ファッショ

ンと呼ばれる風俗現象と結びつい

て、イギリスのハイティーンを中心

に爆発的な流行となつた。

グラフィティー・ファッショ

ン (graffiti fashion) 一九七四

タード・ロックとは同一カテゴリーに

違つて、強烈なリズムで体ごとの

文化にとつては、台風の目といつた

サウンドである。

ウエストコースト (west coast)

一九七〇年頃から、ア

メリカの西海岸で流行はじめたロ

ック・サウンドの傾向で、こだわり

のない、デリケートな軽さを身上と

している。

日本でも大学生を中心にファンが多く、ファッショントイドといふ点で

も、ロックン・ロールと影響力を二

分するような形となっている。

パンク・ロック (punk rock)

もともとは、ニューヨークのアンダ

ー・グラウンドなロックン・ロールの

一潮流だったが、これがロンドンに

渡り、いわゆるパンク・ファッショ

ンと呼ばれる風俗現象と結びつい

て、イギリスのハイティーンを中心

に爆発的な流行となつた。

グラフィティー・ファッショ

ン (graffiti fashion) 一九七四

タード・ロックとは同一カテゴリーに

違つて、強烈なリズムで体ごとの

文化にとつては、台風の目といつた

サウンドである。

ウエストコースト (west coast)

一九七〇年頃から、ア

メリカの西海岸で流行はじめたロ

ック・サウンドの傾向で、こだわり

のない、デリケートな軽さを身上と

している。

日本でも大学生を中心にファンが多く、ファッショントイドといふ点で

も、ロックン・ロールと影響力を二

分するような形となっている。

パンク・ロック (punk rock)

もともとは、ニューヨークのアンダ

ー・グラウンドなロックン・ロールの

一潮流だったが、これがロンドンに

渡り、いわゆるパンク・ファッショ

ンと呼ばれる風俗現象と結びつい

て、イギリスのハイティーンを中心

に爆発的な流行となつた。

グラフィティー・ファッショ

ン (graffiti fashion) 一九七四

タード・ロックとは同一カテゴリーに

違つて、強烈なリズムで体ごとの

文化にとつては、台風の目といつた

サウンドである。

ウエストコースト (west coast)

一九七〇年頃から、ア

メリカの西海岸で流行はじめたロ

ック・サウンドの傾向で、こだわり

のない、デリケートな軽さを身上と

している。

日本でも大学生を中心にファンが多く、ファッショントイドといふ点で

も、ロックン・ロールと影響力を二

分するような形となっている。

パンク・ロック (punk rock)

もともとは、ニューヨークのアンダ

ー・グラウンドなロックン・ロールの

一潮流だったが、これがロンドンに

渡り、いわゆるパンク・ファッショ

ンと呼ばれる風俗現象と結びつい

て、イギリスのハイティーンを中心

に爆発的な流行となつた。

グラフィティー・ファッショ

ン (graffiti fashion) 一九七四

りかのやり方がある。

ジミー風 グラフィティー。

ホールになっていて、左右のエリを

ビアスのように両端にトメのついた

ベルトでしめる。一九七〇年前後に流

行した、米兵の野戦服を模したア

ーリ・ルックとは全く違う。

タードの髪にボマードをつけてバック

にしたりリゼント・カット。裸の上

にじかに皮ジヤンバーを着て、下は

ファッショントイドが増してきている。

五〇年代の若者のアイドル、ジェー

ムス・ディーンのスタイルに由来し

ている。

現在ではこのミリタリーにヨーロピ

アン風のスタイルが融合して、より

ファッショントイドが増してきている。

アーティスのロックだが、いわゆるブ

リティッシュ・ハード・ロックとは

違う。

ロック・ロックとは同一カテゴリー

に違う。最近、流行の著しいバン

ク・ロックに対し、長髪族のアン

ク・パンクスに属する。その点では

超現実的なイメージを求めるサウン

ドである。

ショートカットをつけてバック

にしたりリゼント・カット。裸の上

にじかに皮ジヤンバーを着て、下は

黒のスリムのビッタリとしたジーン

ズ。靴はオートバイに乗るために黒

のブーツをはき、色の濃い独特のサ

ングラスで仕上げる、といったジーンズ

のスタイルである。

ショートカット風の风格を代表する

グラフィティー・ファッショ

ンのブーツは、たとえ髪に強いペーパー

マーラーをかけた上

タックのバギー・パンツ、あるいは

茶色で染めたり、メッシュ

（部

分染め）を入れたりする。ネクタイには無地の銀ラメ。ズボンはツーピース（バギー・トップ）。靴は白のエナメルかツートンのコンビネーション

といつたバリエーションがある。

シティ・ボーイ (city boy)

ヤングを対象としたタウン誌の『宝島』が使い出した言葉だが、現在では、ロックン・ロールに対し、ウ

エストコースト風の風俗を代表する

言葉になつてきている。まだ言葉の

意味が確定していないが都会風に洗練された繊細さと同時に、ある種の

ヒ弱さも含意している。シティ・ボ

ーイの資格は、自分の世界を持つて

いて自分の遊び方を知つており、フ

ァッション的にもかなりキマッ

ていればならない。

テディ・ボーイ (teddy boy)

もともとは、イギリスのエドワード

七世時代風の服装をして一九六〇年

代の反抗的若者を指していた。ブレ

スリーの初期やジェームス・ディー

ー

ン

の若者たちは、ファッショントイドの細部にまで

凝るのが特徴で、スタイルにも何通

ツとズボン、細いネクタイを途中で

カットして、カーリー色のシャ

ツとズボン、細いネクタイを途中で

カットして、カーリー色のシャ

ツ

ツ

ツ

ツ

ツ

ツ

ツ

ツ

ツ

ツ

ツ

ツ

ツ

ツ

ツ

ツ

ツ

ツ

ツ

ツ

ツ

ツ

</

ソラモのテディ・ボーイの風俗に近い。彼らは愛國者を自称し、女王などのタブーに挑戦するパンク・ロック派と対立し、一九七七年のはじめロンドンで両派の乱闘さわぎが報じられた。日本では、テディ・ボーイはシティ・ボーイと対称的に語られることが多いが、この場合には、グラフィティー的なファッショントライフ・スタイルを指している。

スケ・ボー (skate board)

正式にはスケート・ボード。サーフボードを小さくしたような六〇セント余りの板にローラーがついていて坂道などですべる。いわば、陸上サーキット。日本では一九七六年の夏頃から流行を続け、現在では若者文化を象徴する重要なインデックスにまでなった。スケ・ボーが代表する若者ファシヨンはシティ・ボーンのそれとほぼ共通で、UCLA（カリフォルニア大学、ロス・アンジェルス校）などの文字の人ったティーシャツやトレーナーに、靴は皮靴ではなくスニーカーかバスケットシューズをはく。

レイド・バック (laid-back)

もともとは、「無感動な」とか「ぶい」といった意味の英語。ロック・ミュージックでは、高度な技術をもつた演奏者が、ギンギンの演奏をすることなしに、名人芸的なリップスした演奏をすることをいう。

自己表現

ポスト・シリケ派の

自分の外にイデオロギーなどの価値の不動点を置き、そこから自我を統合するというやり方を

現代の若者は知らない。彼らは

自分的心理状態を相対的に見つめながら良好に保つため微

妙なニュアンスに豊んだ自己表

現の言葉をつくり出している。

トンデル 研ナオコのコマ

では音楽に限らず様々な媒体に関連して使われている。トンデルよりもこのツッパリである。

パー・ボ ツッパリ野郎のこと。語源は韓国語に由来する。ソソ

ヤーの領域を広くカバーする感覚が

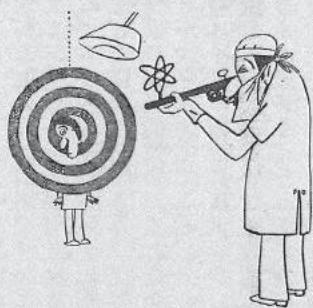
このツッパリである。

ト。語源は韓国語に由来する。ソソ

中國問題用語の解説

竹内 実

京都大学教授



新語らん・追補

四人組クーデター

- 第一回の文化革命は勝利のうちに終結した」とのべて注目をひいた。「これは継続革命が終わつたことを意味しない」とつけ加えているが、しかし、新中国の成立以来、つぎつぎに打出された政治的キャーンペーンが、ここで休息期にはいつたことは否定できない。そして、文化革命にみられたような「騒ぎを起こす」方式ではなく、「生産にはげむ」方式によつて、「革命」を推進するのだという見解が、これからは一般的なものになるだろうと思われる。
- 中共共産党が、中国の指導を行うことは從来どおりだとしても、これは「造反の党」から「管理する」としては「反革命」である。
- 全大会の「政治報告」のなかで、華国鋒は、「第一回の文化革命は勝利のうちに終結した」とのべて注目をひいた。「これは継続革命が終わつたことを意味しない」とつけ加えているが、しかし、新中国の成立以来、つぎつぎに打出された政治的キャーンペーンが、ここで休息期にはいつたことは否定できない。そして、文化革命にみられたような「騒ぎを起こす」方式ではなく、「生産にはげむ」方式によつて、「革命」を推進するのだという見解が、これからは一般的なものになるだろうと思われる。
- 中國共産党が、中国の指導を行うことは從来どおりだとしても、これは「造反の党」から「管理する」としては「反革命」である。

用語解説の背景

- 第一回の文化革命は勝利のうちに終結した」とのべて注目をひいた。「これは継続革命が終わつたことを意味しない」とつけ加えているが、しかし、新中国の成立以来、つぎつぎに打出された政治的キャーンペーンが、ここで休息期にはいつたことは否定できない。そして、文化革命にみられたような「騒ぎを起こす」方式ではなく、「生産にはげむ」方式によつて、「革命」を推進するのだという見解が、これからは一般的なものになるだろうと思われる。
- 中國共産党が、中国の指導を行うことは從来どおりだとしても、これは「造反の党」から「管理する」としては「反革命」である。

「党」へと変わっていき、専門家尊重、技術重視の方向をとるであろう。したがって「四つの近代化」や、職場の生産規制に関する新語が、これからは、われわれの目に多くふれるようになるにちがいない。

● スターリン死後、スターリン批判が行われたように、毛沢東の死後、毛沢東批判が行われるのではないかといふ観測もあつたが、毛沢東死去の一周年を期して「毛主席記念堂」が落成し、「毛沢東選集」第五巻もすでに発売された。「四人組」逮捕は、かくらを変えた「毛沢東批判」とみることができるが、中国の民衆が要求するのは、政治的な安定であり、生産の向上であつて、中国の政治はこの方向に動かさざるをえないだろう。

四人組批判 四人組がクーデター未遂で逮捕されると、たちまち「せき」をきつたようになり、四人組に対する批判が開始された。四人組批判は彼らが自分たちの権力を打立てるために毛沢東主席の指示を故意に歪曲したということにはじまつて、文革(別項)、プロレタリア文化大革命における革命的な措置が否定されるにいたつた。文革の結果、社会のあらゆる分野で混乱がひきおこされとくに社会主義

の関係、⑩中国と外国の関係、の関係、⑪中国と外國の関係、の⑩の項目を設定して、中国が内外に面する重要な問題をいかに処理すべきかを述べたものである。その主要なねらいは五年にはじまつたスターリン批判(別項)による動揺を防止することにあつたといえる。この

月の「右傾翻案風」、「走資派批判」、さらには四月に発生した「天安門事件」などのすべての事件に対してにわたつて見なおすと再評価がおこなわれている。

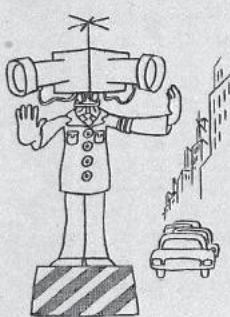
十大関係論 毛沢東の誕生八三周年めにあたる一九七六年一二月二六日、人民日报は毛沢東が五六六年に党政治局拡大会議でおこなつた講話、「十大関係を論ず」を全文掲載した。その内容はすでに内部的には明らかになつてゐたが全文公表は初めてのことである。講話は①重機械と軽工業、農業の関係、②沿海工業と内地工業の関係、③経済建設と国防建設の関係、④工業と軽工業、農業の関係、⑤中央と地方の関係、⑥漢民族と小数民族の関係、⑦共産党と民主党派の関係、⑧革命と反革命の関係、⑨「是」と「非」の関係、⑩中国と外國の関係、

建設に必要な生産部門において大きな損害をもたらしたとされている。七三年の八月ごろから始まつた「批林批孔」運動、七三年八月の「水滸伝批判」、同年二月の「教育革命闘争」、翌年二月の「右傾翻案風」、「走資派批

インドシナ問題用語

坂本徳松

愛知大学教授



用語解説の背景

- インドシナは解放・統一の段階から、新しい社会建設の段階にすんだ。解放と統一への過程は、内戦と外敵をふくむはげしい戦争の過程であった。インドシナの山野は、故ホー・チ・ミン主席が語つたように次第にその牧歌的な自然の美しさをとり戻しつつあるが、破壊のあとは歴史の刻印としてはいつまでも残るであろう。見落としてならないのは、それが破壊であると同時に、破壊に耐えねいたことが、創造へのエネルギー源となつていることである。
- もちろん、そのエネルギー源はインドシナ三国そぞれに質量とともに異なるし、エネルギーの汲みあげ方式も一様ではない。これが前回にも指摘した通

〔未来の商品集〕

ビデオ交通警官 テレビ・カメラで自動車群を一日二四時間監視して、セントナー・オーバー、スピード・オーバーをコンピュータに発見させ、そこから少し離れた地点で停車を命じることは可能になる。証拠にはビデオ・テープがあるから文句なしで、無謀運転は、ほぼ根絶することができるよう。

インドシナ
の問題点

インドシナ

(Indo-China)

地理的にはインドシナ半島にはベトナム、カンボジア、ラオス、カンの旧仮領インドシナ連邦と、タ

イ、ビルマ、マレーシア、シンガポールがふくまるが、通常は旧仮領インドシナ(仮印)をさす。

フランスのベトナム侵略は一八五八年のツーラン(現在のダナン)攻撃に始まり、まずコチシナの一部を直轄植民地とし(一八六二)、つづいてカンボジアを保護領(一八六三)、アンナンを保護国、トンキンを保護領(一八八四)、ラオスのルアンプラバーン王國を保護国、その他を直轄植民地として(一八九三)、これらインドシナ連邦の三国は、日本軍の占領、フランスの再侵略、アメリカの侵略と戦い、ついに一九七五年四月カンボジアの全面解放につづいて、南ベトナムも全面解放され、七六年四月の統一選挙で南北ベトナムの統一によつてベトナム社会主義共和国が実現された。その間、ラオスでも愛国戦線指導のもとに「静かな革命」が進行し、七五年一二月一日、王制を廃止、ラオス人民共和国が成立して、インドシナの地図は完全に新しく塗りかえられた。

① 一九五四年七月二〇日、ジュニ

ネーブ会議で成立したインドシナ休戦に関する協定。北ベトナム、南ベトナム、ラオス、カンボジア、アメリカ、イギリス、フランス、ソ連、中国の関係九カ国が出席し、英・ソが議長を務め、ベトナム、ラオス、カンボジアの領土保全・独立を尊重し、ベトナムについては五六七年までに統一選挙を行うことを決めた。この会議の最終宣言にアメリカと南ベトナムは共同署名しなかつたが、アメリカは単独宣言を出し、協定を尊重することを明らかにしている。

② 六二年七月二三日、ラオス中立化に関して成立した協定。参加国は五四年ジユネーブ会議の九カ国のほか、インドシナ休戦監視委員会の三カ国(カナダ、ボーランド、インド)、ラオスの隣国ビルマ、タイの計一四カ国。なお四九年八月一二日に成立した「捕虜の待遇に関する条約」、二五年の毒ガス戦、細菌戦を禁止した「ジユネーブ協議書」がある。

インドシナ人民戦争

(Indo-China people's war)

ベトナム民主共和国の独立後、フランスのベトナム再侵略による戦争(一九四六～五四)は、一般に抵抗戦争(resistance war)、あるいは第一次インドシナ戦争と呼ばれている。その後アメリカは南ベトナムで、いわゆる傀儡(かいらい)政権を樹立し、傀儡軍を正面に立てて特殊戦争(special war)を継続したが、南ベトナム解放民族戦線(↓別項)指導のもとに人民の抵抗は

中東問題用語の解説

岩 永 博
法政大学教授



『未来の商品集』

海水鉱山会社 ソ連の学者の計算では、海水のイオン交換樹脂法で、採算にあり（金がどれ、さらに金よりも貴重なジルコニウム原子炉原料）なども含む。また海底鉱山には鉄、マンガンがあり、デンマークは海底からダイヤモンドを掘り、フィリピンの海底にはウラン鉱がある。

用語解説の背景

- 中東は、ヨーロッパ、アジア、アフリカ三大陸の接点に跨がって、国際交通の要衝をなす地理的重要性と、世界最大の石油資源を埋蔵する経済的役割で、その国際政治・経済上の地位が著しく高い。中東は、第二次世界大戦以降、反帝国主義活動で第三世界の先駆的役割を演じてきただが、特に産油国は一九七三年の第四次中東戦争下で打出した石油戦略により、先進諸国に対し対等の発言力を持つに至った。
- 中東は、第二次世界大戦以後、米ソ対立の最重要舞台の一つと化していたが、第四次中東戦争の衝撃下で、米ソの緊張緩和が一そう拡まり、一部革新諸国との連携も加わって、ソ連の影響力はやや後退

新語らん・追補

認・解体を主張した綱領を修正し、PLOが和平のためのあらゆる国際会議に独立の代表をもつて参加する権利をもつこと、

パレスチナ建國の承認
一九七六年一月二十四日、国連総会が行ったパレスチナ人の国家建設を明示している最初の決議。七五年に総会でパレスチナ人の基本的権利擁護のため設けられた二〇カ国特別委員会が七年四月にまとめた「ミニ・パ

レスチナ国家」構想の報告の承認を求める二八カ国共同決議案が、賛成九〇、反対一六、棄権三〇で採択されたものである。

内容は、六七年の占領地であるヨルダン川西岸とガザ地帯からイスラエル軍を七七年六月までに撤退させ、ここに国連の暫定的管理を経て、パレスチナ国家を建設するという勧告である。

同案は七六年六月の安保理ではアメリカの拒否権で否決され、イスラエルおよびアラブの拒否戦線派からも反対されており、拘束力のない総会決議として実現の見通しは全くたたないが、パレスチナ問題解決の国際世論として、影響力を増大しよう。

新パレスチナ武装闘争令部 一九七七年三月一九

日、第一三回パレスチナ国民評議会総会で秘密決定したと伝えられるパレスチナ解放軍（PLO）（別項）とゲリラ組織を統括する新機構。司令部は、ゲリラ各組織の司令官からなる軍事委員会、参謀部をもつ。最高司令官にはPLOの軍事局長ズベイール・モーセンが就任した。

人民闘争戦線（PLO）Palas Line Struggle Front 一九七四年一二月に結成されたリビアの支持下にある強硬パレスチナ・ゲリラ組織で、「拒否戦線」を構成する四グループの一つ。七七年三月のPNC（別項）で、この派に属するヨルダン内戦生残りの闘士アブ・ガルビアが、議長候補にあげられ、親シリア派のハーリド・ファーフームに对抗し、会議でもPNCの強硬路線を支えた。

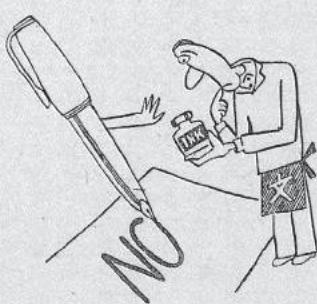
アラブ平和委員会 パノン内戦收拾のため、アラブの穏健派を中心に一九七六年一月

"A"で終ると女を指すが日本人は男も女も "KAZU-O", "HANAK-O" のように "O" で終る名前が多く、ベネズエラ人にとっては男女の区別がわからないためである。

〔ベネズエラ話題学〕

教育用語の解説

持田栄一



用語解説の背景

- 現代は、「教育の時代」だといわれている。新聞や週刊誌や雑誌などの号をとり出してみても、教育問題の特集にいきあたる。教育問題がこれ程までに世論の対象となつたことは、古今未嘗有のことである。技術革新と情報化が進行するなかで、知的生活が、人間の生存と生活にとって、重要なかかわりを持つことが明確となつたためであろう。
- しかし、近代市民社会においては、人間の成長。発達と教育は、私的・個人的なものとされており、このようないくら学力がついても他より上にならなければ成績はあがらず、子どもたちの競争心をあおるとともに、やる気をなくさせるという問題点がみられた。そこで、一九七〇年代の初めごろから比率のわくをはずし教師の判断で学力に応じた評点をつける絶対評価が行われるようになっている。しかしこの絶対評価法には、教員の主觀に作用されるという欠陥がみられるため、最近では、学習の到達基準をはつきりさせた上で、絶対評価を行う到達度評価が行われている。
- 現代は、「非教育の時代」でもある。

ればなるほど、これを私物化し、喰い物にしようとする動きもめだつてみられるようになる。企業は、人間の教育を、労働力づくりといふ観点からのみながめ、教育ママは、わが子の教育に利己的な期待をかける。このような意味において、「教育の時代」の現代は、「非教育の時代」でもある。

● 現代の教育を語るにあたって、われわれは、「教育の時代」の現代を、真に人間の教育がそれ自体として尊重される時代としなければならない。そのためには、まずは、教育を私物化し、喰い物にする体制が、問い合わせなければならないのである。いつも、継承され前提とされているから、教育が、人間わゆる、学歴社会批判もこのような観点に立つて提唱されるべきである。

『未来の商品集』

インク不要の万年筆 科学はこれほど発達したのに、今だにインクのボタ落ち、字のかすれ、書き味の悪さに悩む万年筆が許されるはずはない。電子的な万年筆と、印画紙式の紙で、もの書きは永年の夢が叶えられるはずである。

新語らん・追補

到達度評価

教育評価の

めこみ教育がつくりだされること

が懸念される。

ゆとりのある教育

昭和五二年度における学習指導要領改訂のねらいの一つ。いままで

の教育が、知育偏重にかたよ

り、つめこみ教育におちいつて

いることを反省し、教育課程審議会は、五一年一二月の答審に

おいて、「ゆとりある、しかもも

充実した学校生活」を具体化す

ることを目標に、教育課程の改

革を行うことを提案した。この

提案は、五二年の新学習指導要

領にいかされ、そこでは「ゆと

りのある教育」を保障するため、

①知育偏重を改め人間教育や身

体形成の教育を尊重する、具

体形

成

の

教

育

課

程

の

改

訂

を

行

う

こ

と

を

提

案

す

る

こ

と

を

提

出

す

る

こ

と

を

提

出

す

る

こ

と

を

提

出

す

る

こ

と

を

提

出

す

る

こ

と

を

提

出

す

る

こ

と

を

提

出

す

る

こ

と

を

提

出

す

る

こ

と

を

提

出

す

る

こ

と

を

提

出

す

る

こ

と

を

提

出

す

る

こ

と

を

提

出

す

る

こ

と

を

提

出

す

る

こ

と

を

提

出

す

る

こ

と

を

提

出

す

る

こ

と

を

提

出

す

る

こ

と

を

提

出

す

る

こ

と

を

提

出

す

る

こ

と

を

提

出

す

る

こ

と

を

提

出

す

る

こ

と

を

提

出

す

る

こ

と

を

提

出

す

る

こ

と

を

提

出

す

る

こ

と

を

提

出

す

る

こ

と

を

提

出

す

る

こ

と

を

提

出

す

る

こ

と

を

提

出

す

る

こ

と

を

提

出

す

る

こ

と

を

提

出

す

る

こ

と

を

提

出

す

る

こ

と

を

提

出

す

る

こ

と

を

提

出

す

る

こ

と

を

提

出

す

る

こ

と

を

提

出

す

る

こ